


発生日	2015/6/13
発生場所	香川県
一般名称	マッドマウス
事故の概要	定員2名のマッドマウスに1名で乗っていた乗客が、カーブで客席側面に身体をぶつけ、肋骨を骨折した。
調査の状況	<p>○昇降機等事故調査部会において調査を実施。部会委員等による現地調査、国土交通省によるヒアリング調査を実施。</p> <p>○事故発生時の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2名用のベンチシートタイプの客席の右側に乗車し、係員が安全バー装着状態の確認及び口頭での注意伝達を行った後で発車した。 ・走行中の安全バーの装着状態及び車両に異常は感じられなかった。 ・カーブで客席に脇腹や背中がぶつかるほど身体が振られ、姿勢を維持するために前方の握りパイプを強く握っていた。 ・コース終盤の右カーブを曲がった際に、身体が左側に横滑りし、左脇腹から背中中の辺りが客席左側面にぶつかった。 <p>○現地調査等により得られた情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令上の違反事項及び軌道、安全装置等の異常は認められなかった。 ・定期検査報告書においても指摘事項は認められなかった。 ・1名乗車時に、走行中のカーブで生じた遠心力により横滑りが生じ、空席側に移動してしまう事象は、試乗により容易に再現された。 ・事故機の横方向の水平加速度を測定したところ、被害者が痛みを感じたカーブでは0.87G（右側1名乗車時平均値）であった。 <p>○原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客席の右側に1名で乗っていた乗客が、走行中の右カーブで空席だった左側に移動してしまった際、客席左側面に身体がぶつかり、その衝撃により負傷したものと考えられる。 ・走行中に空席側に移動してしまったのは、カーブを曲がる際に生じた遠心力に対し、安全バーと座面による保持力及び握りパイプを掴んでいたことだけでは、身体を支えることができず、遠心力により横滑りが生じたためと考えられる。 <p>○再発防止策（写真1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠心力による空席側への横滑りの防止 <ul style="list-style-type: none"> 各席にシートベルトを追加した。 座面表面の材質を、滑りにくいノンスリップタイプのものに変更した。 安全バーのクッション材を厚くし、安全バーが乗客の脚部に密着し、しっかり保持できるようにした。 ・客席衝突時の衝撃低減 <ul style="list-style-type: none"> 客席背面、側面のシートクッション材を衝撃吸収性の高いものに変更し、設置範囲を拡大した。 客席側面上部に衝撃吸収クッションを追加した。
	 <p>改修前</p> <p>改修後</p> <p>衝撃吸収シート</p> <p>衝撃吸収クッション</p> <p>クッション材増量</p> <p>ノンスリップレザー</p> <p>シートベルト</p>
	写真1 再発防止策
	調査終了